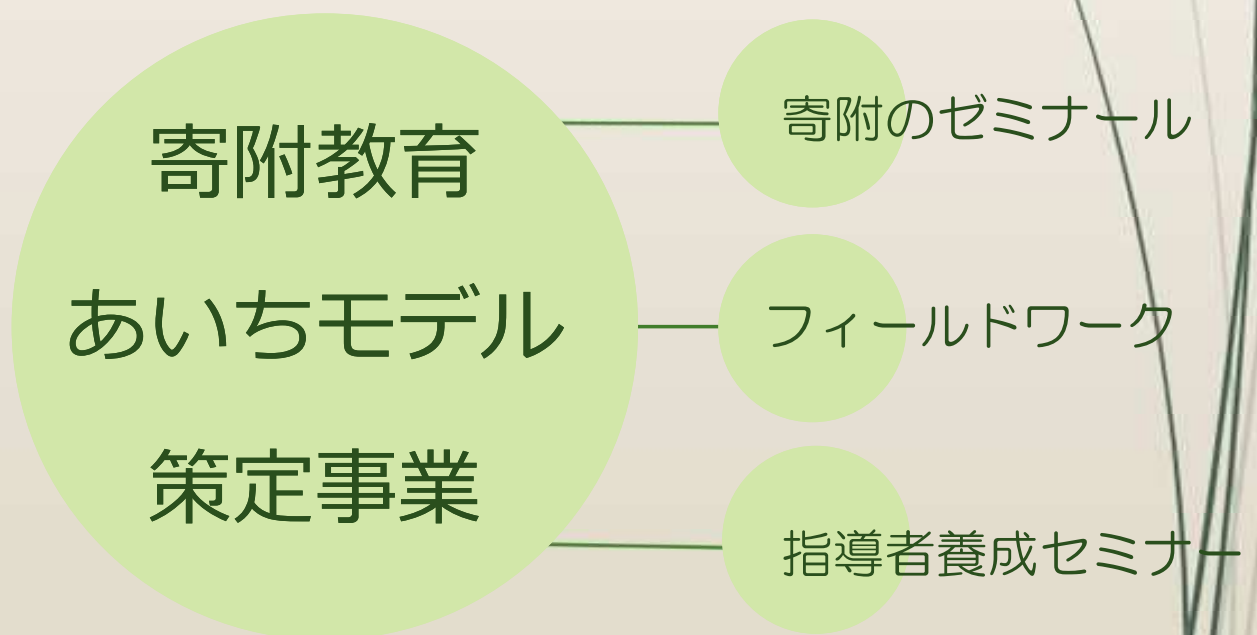


寄附教育 あいちモデル 策定事業

成果報告
BOOK
2020

寄附教育あいちモデル策定事業とは

若者の寄附意識や社会参画・貢献意識の醸成を目的として、NPOへの寄附を通じた社会貢献を考える特別授業「寄附のゼミナール」をはじめ、ゼミナール参加校の生徒がNPOの活動を現場で体験する「フィールドワーク」、寄附のゼミナールを県内各地で実施可能とするための「指導者養成セミナー」を開催する事業のことです。





目次

寄附のゼミナール . . . 3 頁

開催概要 . . . 4 頁

開催実績

参加NPOプレゼンテーション研修 . . . 7 頁

寄附のゼミナール . . . 8 頁

参加NPO寄附金活用状況 . . . 27 頁

フィールドワーク . . . 39 頁

指導者養成セミナー . . . 47 頁

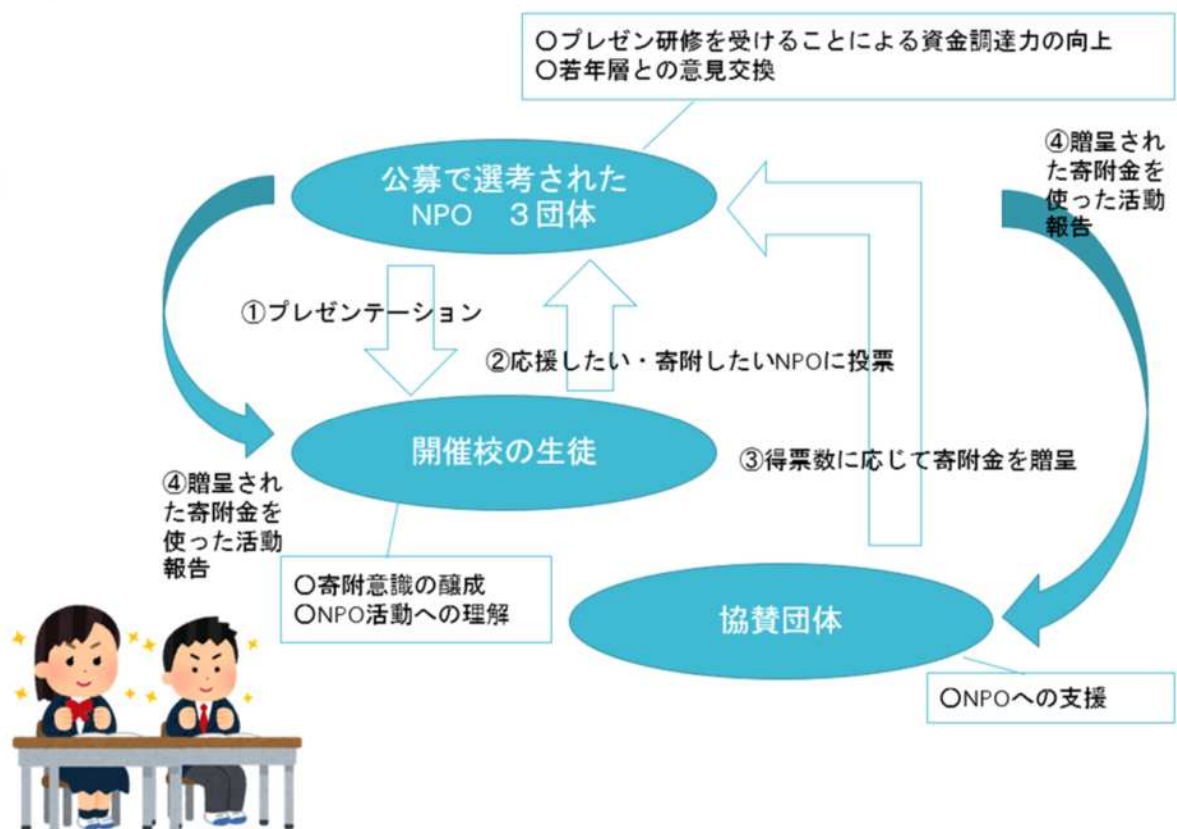
寄附のゼミナール



●●● 「寄附のゼミナール」とは ●●●

愛知県では、若者の寄附意識や社会参画・貢献意識の醸成を図ることを目的に、高校生及び中学生がNPOの社会貢献活動を考える「寄附のゼミナール」を開催しました。

このゼミナールでは、参加NPOが中学校又は高校を訪問し、活動内容や寄附による事業の成果等のプレゼンテーションを行い、それにより生徒が「寄附したい」と考えたNPOに投票し、そのNPOと意見交換を行います。また、高校では、協賛団体から、NPOに、その得票数に応じた寄附金が贈呈されます。



●●●2020年度 寄附のゼミナール●●●

1 開催概要

(1) スケジュール

開催校 (所在地) [対象生徒]	日時	参加NPO
愛知県立 東海商業高等学校 (東海市) [2年生 110名]	① 10月 2日 (金) ② 10月 9日 (金) ③ 10月16日 (金) いずれも9:55~10:45	・パパ子育て応援団おとキッズ ・防災ママかきつばた ・大人のひきこもりピアサポートの会みらいテラス
愛知県立 成章高等学校 (田原市) [3年生 39名]	①②10月28日 (水) 10:00~11:50 ③ 11月 4日 (水) 10:00~10:50	・環境ボランティアサークル 亀の子隊 ・認定NPO法人 アジア車いす交流センター ・視覚障害者団体さくらんぼ
栄徳高等学校 (長久手市) [1年生・2年生 22名]	① 11月12日 (木) ② 11月19日 (木) ③ 11月26日 (木) いずれも16:00~16:50	・社会福祉法人日本介助犬協会 ・社会福祉法人むそう ぴゅん長久手 ・NPO法人 フィール・ザ・ワールド
清須市立 春日中学校 (清須市) [2年生 73名]	①②③ 12月16日 (水) 13:10~15:00	・親子わくわくプラザ ・NPO法人瑞穂学習支援会 ・清須市家庭教育支援チーム チームMOMO

(2) 内容

- ・①：社会課題や寄附に関する講義、
参加NPOによる活動内容のプレゼンテーション
- ・②：生徒によるグループ討議、各自で寄附したいNPOへ投票
(得票数に応じて寄附額を決定 ※高校のみ実施)
- ・③：結果発表及び生徒代表による選定理由発表
生徒とNPOの意見交換
(得票数に応じて協賛団体から寄附金を贈呈 ※高校のみ実施)

2 参加NPOの概要

社会課題の解決に取り組むNPO12団体が開催校を訪問し（1校あたり3団体）、活動内容のプレゼンテーションと生徒との意見交換を行いました。

開催校	参加NPO（所在地）	主な活動内容
東海商業 高等学校	パパ子育て応援団おとキッズ （東海市）	父親を主体とした子育て支援
	防災ママかきつばた （知立市）	親子に向けての防災啓発
	大人のひきこもりピアサポートの会 みらいテラス（東海市）	中高年のひきこもり社会参加 支援
成章 高等学校	環境ボランティアサークル亀の子隊 （田原市）	海岸のクリーンアップ、環境 学習
	認定NPO法人 アジア車いす交流センター（刈谷市）	アジアにおける障がい児支援
	視覚障害者団体さくらんぼ （田原市）	点字実践教室、交流会の開催
栄徳 高等学校	社会福祉法人日本介助犬協会 （長久手市）	介助犬の育成
	社会福祉法人むそう ぴゅん長久手 （長久手市）	障害のある子どもの支援
	NPO法人フィール・ザ・ワールド （長久手市）	子どもの健全育成、地域づく り
春日 中学校	親子わくわくプラザ （清須市）	子どもの健全育成、子ども食 堂
	NPO法人瑞穂学習支援会 （名古屋市）	学習支援、通信制高校サポ ート教室事業
	清須市家庭教育支援チーム チームMOMO（清須市）	子育て支援、保護者向け学習

3 協賛団体

社会貢献活動に熱心に取り組んでおられ、本事業の趣旨に賛同された以下の3団体から、各30万円の寄附金が贈呈されました。

- ・一般財団法人住友理工あったか基金（名古屋市中村区）
- ・東海労働金庫（名古屋市中区）
- ・株式会社サーラコーポレーション（豊橋市）

4 開催実績

(1) 参加NPO プレゼンテーション研修

公募により募集されたNPO12団体に対し、寄附のゼミナールにおいてより効果的なプレゼンテーションを実施するため、また、伝える力を身につけることにより資金調達力の向上につなげるため、プレゼンテーション研修を実施しました。

① 全体研修 9月19日（土）13：30～15：30

全体研修は、オンラインで行われました。

認定NPO法人日本ファンドレイジング協会の認定ファンドレイザー西村健氏より、NPO活動資金の効果的な獲得について講義いただいた後、NPO法人中部プロボノセンター代表理事戸成司朗氏により、共感するプレゼンテーションをテーマに、プレゼンテーション資料の作成について講義いただきました。

- | | | |
|--------|-----------|-----------------|
| ② 個別研修 | 9月23日（水） | 県立東海商業高等学校参加NPO |
| | 10月 8日（木） | 県立成章高等学校参加NPO |
| | 10月30日（金） | 栄徳高等学校参加NPO |
| | 11月11日（水） | 清須市立春日中学校参加NPO |

個別研修は1団体ごとに、全体研修でのプレゼンテーション資料作成のレクチャーに従い、それぞれが作成した資料を基に行われました。

プレゼンテーションを実践しながら、全体の構成や言葉の選び方など、高校生及び中学生に、より伝わるプレゼンテーションとするための研修を受けました。



(2) 寄附のゼミナール

社会課題の解決に取り組むNPO12団体が開催校を訪問し（1校あたり3団体）、活動内容のプレゼンテーションと生徒との意見交換を行いました。

① 愛知県立東海商業高等学校

場 所：県立東海商業高等学校 体育館

参加者：110名（2年生 総合ビジネス科の生徒）

①回目 10月2日（金）9：55～10：45

- 社会課題や寄附に関する講義
- 参加NPOによる活動内容のプレゼンテーション



総合ビジネス科2年生の高校生110名に対し、NPO活動と寄附の意義について、今年度の寄附のゼミナール実施業務を受託しているNPO法人中部プロボノセンター代表理事戸成氏による基礎講義が行われました。

その後、NPO3団体からのプレゼンテーションが実施されました。

高校生は、NPOのプレゼンテーションを静かに、そして熱心に聞いていました。



参加NPO

パパ子育て応援団おとキッズ



「パパと遊んだこと覚えてますか？」

パパの子育て参加時間は一日たったの1.23時間。育児に参加したいけれど、どうしていいかわからない、そんなパパ達を応援する活動を行っています。

防災ママかきつばた



「防災していますか？」

東南海地震で予測される震度は、東海市では最大震度7。日頃から、防災について学び備えることで、大切な家族を守りましょう。そのために啓発活動を行っています。

大人のひきこもりピアサポートの会みらいテラス



「空白があっても自分らしく輝ける社会の実現」

社会問題となっている中高年のひきこもり。国の支援制度は3年間。ここにはタイミングがあり、国の支援だけでは足りていません。そんな中高年の方々にサポートします。

②回目 10月9日（金）9：55～10：45

- 生徒によるグループ討議
- 各自で寄附したいNPOへ投票



グループワークの進め方についてレクチャーを受けた後、グループに分かれて討議を行いました。グループワークで意見を交換し、さらに数グループには、グループ内でどのような意見が出たのかを発表してもらいました。指名された生徒は、突然の指名にも関わらず、しっかりと発言していました。

その後、投票用紙に、それぞれの意思で、寄附したい・支援したい団体名、理由を記載し、投票しました。



③回目 10月16日（金）9：55～10：45

- 結果発表及び生徒代表による選定理由発表
- 生徒とNPOとの意見交換

高校生による投票結果が発表され、その得票数に応じて、東海労働金庫様からの寄附金が、営業統括部宮本次長様から、参加した3団体に贈呈され、高校生とNPOへメッセージが送られました。

生徒代表による投票理由の発表後、生徒とNPOとの意見交換が行われました。



寄附金の目録の贈呈



メッセージを送られる宮本次長様



高校生とNPOとの意見交換（左から、おとキッズ・防災ママかきつばた・みらいテラス）

投票結果

NPO	票数	寄附金額
パパ子育て応援団おとキッズ	61票	166,364円
防災ママかきつばた	37票	100,909円
大人のひきこもりピアサポートの会みらいテラス	12票	32,727円
計	110票	300,000円

参加者の声

高校生から

- 今、母親がワンオペ育児で追い詰められてしまい精神剤の多量摂取や自殺を凶るという問題が多いので、父親も育児に参加すれば、こういった問題がなくなると思った。(おとキッズ)
- 活動に参加している人がよく笑っていて、人と人とのつながりを大切にしているところがよかった。自分が親になったときに、父親が子どもと遊んでくれると助かるし、うれしいと思った。(おとキッズ)
- ひきこもりになる人が61万人もいることに驚いた。少しでもそのような人たちを救ってほしいと思った。ひきこもりの人のためのフリースクールに興味を持った。(みらいテラス)
- 就職難の状況下で、少しでもひきこもりの現状が改善することができたらいいと思った。ひきこもりの方へ寄り添ってあげてほしいと思った。(みらいテラス)
- 防災は本当に大切だと感じた。この学校の最大深度が7ということを知り、しっかりイメージをもって避難訓練をしなければならぬと思った。(防災ママかきつばた)
- 防災の知識を伝えていくのはいいことだし、役立つ情報が多く、母親としての仕事をしながら団体に活動していて素晴らしいと思った。元気のあるプレゼンで明るい気分になれた。(防災ママかきつばた)



先生から

- 寄附をするという体験やNPOの方と話をすることが得られ、生徒の視野を広げることにつながった。
- 継続していくことで、寄附に関する意識も変わっていくと思う。一度きりだともったいないと思った。

NPOから

- 寄附行為は、その団体を本当に応援したいという個人の選択肢であるということを多くの人に広められ、素晴らしいと感じた。
- 活動資金を確保することはNPOにとって活動を続ける重要な要素であり、併せて若い世代に発信するという発信側と受信側がお互いにとって良い体験の機会となった。



② 愛知県立成章高等学校

場 所：県立成章高等学校 計算実務室

参加者：39名（3年生 総合ビジネス科の生徒）

①回目 10月28日（水）10：00～10：50

②回目 同 日 11：00～11：50

- 社会課題や寄附に関する講義
- 参加NPOによる活動内容のプレゼンテーション
- 生徒によるグループ討議
- 各自で寄附したいNPOへ投票

総合ビジネス科2年生の高校生39名に対し、NPO活動と寄附の意義について、基礎講義が行われた後、NPO3団体からのプレゼンテーションが実施されました。

そして、グループに分かれて生徒間で討議し、意見を交換しました。さらに、各グループで出された意見を発表してもらいました。どのグループも積極的に挙手をし、発表していました。

その後、それぞれの思いを込めて、寄附したい・支援したいNPOに投票しました。



参加NPO

環境ボランティアサークル亀の子隊



「きれいな海を守りたい
～西の浜はゴミ箱じゃない～」

田原市の西の浜には、多くのゴミが流れ着いています。ゴミを飲み込んだスナメリの被害も甚大です。西の浜の環境を守るための活動をしています。

認定NPO法人アジア車いす交流センター



「誰も取り残されない世界へ」

アジアでは、障害のため歩行ができずに一度も外出をしたことがない子どもや、通学をあきらめた子どもたちがいます。そのような子どもたち一人ひとりのニーズにあった車いすを届ける活動をしています。

視覚障害者団体さくらんぼ



「視覚障害の人たちが安心して暮らせる社会・街を目指して」

田原市には、点字ブロックや音響式信号機が足りていません。視覚障害者が安心して暮らせる街づくりや音楽活動を通じて、視覚障害者を支援しています。

③回目 11月4日（水）10：00～10：50

- 結果発表及び生徒代表による選定理由発表
- 生徒とNPOとの意見交換

高校生による投票結果が発表され、その得票数に応じて、株式会社サーラコーポレーション様からの寄附金が、コーポレートブランディング推進部川島部長様から、参加した3団体に贈呈され、高校生とNPOへメッセージが送られました。

生徒代表による投票理由の発表後、生徒とNPOとの意見交換が行われました。



寄附金の目録の贈呈



メッセージを送られる川島部長様



高校生とNPOとの意見交換（左から、亀の子隊・アジア車いす交流センター・さくらんぼ）

投票結果

NPO	票数	寄附金額
環境ボランティアサークル亀の子隊	11票	84,615円
認定NPO法人アジア車いす交流センター	12票	92,308円
視覚障害者団体さくらんぼ	16票	123,077円
計	39票	300,000円

参加者の声

高校生から

- ゴミのポイ捨てなどにより、環境破壊が広がっているので支援をしたいと思った。自分の住むまちの海をきれいにしたいと思った。いろいろな活動により、支援する人が増え、豊かなまちになってほしいと思った。（亀の子隊）
- 地元である田原市を、ゴミ拾い活動、塩づくり体験を通して、海をきれいにしたいと思った。一人ひとりの意識の違いで、少しでもゴミを減らしていくことができればいいと思った。（亀の子隊）
- 自分の一票で子どもを助けることができるというのを聞き、助けたいと思った。このように学校へ通えない子がたくさんいるということを多くの人に知ってもらいたい。全員が同じように学び、遊べる世界にしたいと思った。
（アジア車いす交流センター）
- 日本だけでなく世界で活動をしているというところに魅力を感じた。貧困格差の大きい世界で活動していることが素晴らしいと感じた。僕の一票で救える人がいるのであればと思った。（アジア車いす交流センター）
- 田原市の人を助けることができるのは田原市民だと思った。田原市民として田原のまちを安心して暮らせるように支援したい。自らも障がいに悩みながら、前を向いて様々なことに挑戦する姿をみて応援したいと思った。（さくらんぼ）
- 田原市には、音響式信号機や点字ブロックが少ないと感じた。さくらんぼさんの活動を多くの人に知ってもらい、障がいを持っている人が少しでも前を向けるようになってほしいと思った。多くの人に勇気を与えてほしいという期待をしている。（さくらんぼ）



先生から

- 様々な活動をしていることを知り、自分たちの一票がどれだけの影響力があるのかを知ることができて良かった。また、今後どのように支援していけるのかを考えるきっかけとなった。
- 真剣に話を聞き、考え、投票したと思う。とても良い経験となり、今後の人生にいかしてもらいたい。

NPOから

- 普段接点のない地元の高校生に活動を広報することができた。
- 高校生からの貴重な声を聞くことができ大変参考になった。
- 他団体のプレゼンを聞いたことは刺激になった。

③ 栄徳高等学校

場 所：栄徳高等学校 視聴覚室

参加者：22名（生徒会、ボランティア部、放送部の生徒）

①回目 11月12日（木）16：00～16：50

- 社会課題や寄附に関する講義
- 参加NPOによる活動内容のプレゼンテーション



生徒会、ボランティア部、放送部の高校生22名に対し、NPO活動と寄附の意義について、NPO法人中部プロボノセンター事務局長大須賀氏による基礎講義が行われました。

NPO3団体からのプレゼンテーションが実施された後、NPOのプレゼンテーションについての質疑が行われ、高校生から質問がされていました。



参加NPO

社会福祉法人日本介助犬協会



「人にも動物にも優しく
楽しい社会を目指して」

介助犬の頭数は、その育成の難しさから、盲導犬や聴導犬に比べてまだまだ足りていません。
まちでお仕事中の介助犬を見かけたら、やさしい無視をお願いします。

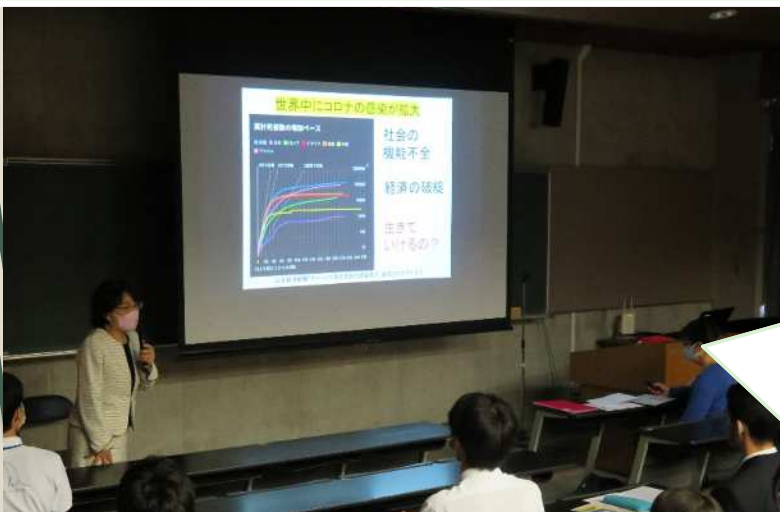
社会福祉法人むそう ぴゅん長久手



「発達障害ってなに？」

ぴゅん長久手では、0歳から高校生までの子どもたちが通っていて、発達障害のある子どもたちが社会でストレスなく楽しく過ごしていけるよう支援をしています。

NPO法人フィール・ザ・ワールド



「わたしが起点のミライを作る」

SDGsを達成するために、世界の多様性などを考え、グローバルな人材を育成するための活動を展開しています。

②回目 11月19日（木）16：00～16：50

- 生徒によるグループ討議
- 各自で寄附したいNPOへ投票



2回目の開催日は、グループに分かれて討議を行いました。栄徳高校では、生徒会、ボランティア部、放送部の生徒が、バラバラになってグループを作りました。部活動等、学年が違うメンバーでしたが、どのグループも、積極的に意見交換が行われていました。グループワークで意見を交換し、さらに各グループからグループ内でどのような意見が出たのかを発表してもらいました。

その後、投票用紙に、寄附したい・支援したい団体名、理由を記載し、投票しました。

また、栄徳高校では、放送部により、寄附のゼミナールの1回目から3回目までを通して、その活動の取材が行われていました。



③回目 11月26日（木）16：00～16：50

- 結果発表及び生徒代表による選定理由発表
- 生徒とNPOとの意見交換

高校生による投票結果が発表され、その得票数に応じて、一般財団法人住友理工あったか基金様からの寄附金が、住友理工株式会社CSR部山口部長様から、参加した3団体に贈呈され、高校生とNPOへメッセージが送られました。

生徒代表による投票理由の発表後、生徒とNPOとの意見交換が行われました。栄徳高校では、同校の先生も意見交換に参加されました。



寄附金の目録の贈呈



メッセージを送られる山口部長様



高校生・先生とNPOとの意見交換（左から、介助犬協会・ぴゅん長久手・フィール・ザ・ワールド）

投票結果

NPO	票数	寄附金額
社会福祉法人日本介助犬協会	11票	150,000円
社会福祉法人むそう ぴゅん長久手	10票	136,364円
NPO法人フィール・ザ・ワールド	1票	13,636円
計	22票	300,000円

参加者の声

高校生から

- 緊急だと感じた。新型コロナウイルスによる休校、リストラなどが相次ぐ中、虐待が増えていると聞く。付添犬がいれば、虐待を未然に防ぐことができるし、虐待を受けた人の心の拠りどころになると思う。（日本介助犬協会）
- まだ日本には介助犬が60頭未満ということなので、もっと増やして、人に寄り添ってもらいたい。人を助けてほしい。（日本介助犬協会）
- 障がいを持った子どもたちにとって「居場所」はとても大切だと思った。ぴゅん長久手で、一人ひとりを支え、社会でストレスなく、工夫をすることで生きやすくなるのなら、その子どもたちの助けになればいいと思った。
（ぴゅん長久手）
- 世の中で差別されている子どもたちに寄り添うことはとても大切だと思う。その子の個性を否定するのではなく、走り回りたのであれば、体を動かすことができるようにトランポリンを買いたいと思っていることが素晴らしいと思った。（ぴゅん長久手）
- 「栄徳から世界へ」という目標があり、具体的な取り組みを始めるヒントとなりそうだと感じた。
（フィール・ザ・ワールド）



先生から

- 実際にNPOの事業に関わる人たちから話を聞き、どの事業に関わりたいか考えることができてよかった。
- 生徒たちが熱心に取り組んでいたのが目に見えて理解できた。
- NPOの人たちと意見交換する機会は今までほとんどなく、良い経験値になった。

NPOから

- プレゼン研修では、高校生に何を伝えたいか、何を知ってもらいたいかを再確認することができた。
- 生徒との意見交換の場が特に印象的だった。投票してくれた生徒からの率直な意見、質問等をもらい、プレゼンの何に興味を持ち、何が分かりにくかったのか等の声を聞くことができ、参考になった。
- 認知度向上が課題であるため、近隣の高校生に知ってもらい、興味を持ってもらうのは貴重な機会だった。



④ 清須立春日中学校

場 所：清須市立春日中学校 体育館

参加者：73名（2年生）

①②③回目 12月16日（水）13：10～15：00

- 社会課題や寄附に関する講義
- 参加NPOによる活動内容のプレゼンテーション
- 生徒によるグループ討議
- 各自で寄附したいNPOへ投票
- 結果発表及び生徒代表による選定理由発表
- 生徒とNPOとの意見交換

春日中学校では、全3回の課程を1日で実施しました。

始めに、2年生の73名に対し、NPO活動と寄附の意義について、基礎講義が行われました。その後、NPO3団体からのプレゼンテーションが実施されました。中学生たちは団体の熱い想いに真剣に耳を傾けていました。

続いて、自分が投票したい団体とその理由について生徒間で討議を行い、各自で支援したいと思うNPOに投票しました。



参加NPO

親子わくわくプラザ



「地域のみんなが、参加親子が、“わくわく”できる場所づくり」

地域のボランティアの方たちとともに、地域の子どもたちが、「学び」「食」「遊び」を通して、わくわくできる場所づくりを目的に活動を行っています。

NPO法人瑞穂学習支援会



「誰もが当たり前で学べる居場所作り」

学歴をあきらめる理由は家庭環境や個人的な理由など様々ですが、学ぶことをあきらめたくない、そんな子どもたちへの支援活動を行っています。

清須市家庭教育支援チーム チームMOMO



「いのちは自分だけのものじゃない」

親も子どもも元気になる家庭支援教育を狙いとして、子育て中の保護者等へ、「学びの場」「気づきの場」を提供しています。



中学生とNPOとの意見交換（左から、親子わくわくプラザ・瑞穂学習支援会・チームMOMO）

中学生による投票結果が発表され、生徒代表により投票理由が発表されました。各団体に「共感」し、NPOによるプレゼンがよく伝わったことが感じられました。

各団体から生徒たちへ御礼の言葉が述べられたのち、生徒が投票した団体と意見交換を行いました。



投票結果

NPO	票数
親子わくわくプラザ	11票
NPO法人瑞穂学習支援会	50票
清須市家庭教育支援チーム チームMOMO	12票
計	73票

参加者の声

中学生から

- 小さい頃から、何か一つに集中して遊んだりできるのでいいと思った。小さい頃にやることで、苦手なところも工夫できたり、一つの物事に集中できたりして、素晴らしいと思った。（親子わくわくプラザ）
- 親子で仲を深めることができ、普段家ではできないようなことを体験させてくれる。また、3つのプログラムを通して、親子共にわくわくしたり、笑顔になれる。（親子わくわくプラザ）
- 学歴がないことによって収入が少なくなり、その子どもまでもそのイメージによっていじめられたりするので、それを元から改善できるのはいいと思った。（瑞穂学習支援会）
- 今、コロナウイルスの関係で、学費が払えない人や、障害などの理由で、満足して勉強できない人がたくさんいると思う。この活動によって、多くの人を助けられると思う。また、今、私たちが学んでいることが幸せなことなのだと実感できた。（瑞穂学習支援会）
- 自殺のニュースや母親の乳児遺棄のニュースなどをよく見かけるが、いのちの大切さを学ぶべきだと思った。しっかりと考えるためには、やってみることが必要だと思った。（チームMOMO）
- 未来を担う子どもたちがいろいろな人と関わり、いろいろな体験をすることができ、中学生もその子育てに関わられて将来役立つと思った。（チームMOMO）



先生から

- 普段あまり知られていない寄附ということに関して理解を深められた。
- NPOというと身近にはないというイメージがあったが、身近なところにもあるとわかった。
- どのNPOに寄附しようか、生徒自身が考え、また、他の生徒の意見を聞くこともでき、深まったと思う。

NPOから

- 生徒からの感想をもらい、客観的な意見を聞くことができた。
- プレゼン方法と、伝えることを勉強させてもらう機会を与えてもらった。今後に向けて活用し、次のステップに向けて頑張っていきたい。
- 中学校に出向き、アピールをするのは初めてだったので、良い経験になった。投票してもらうことにより、自身の活動に対して前向きになれた。






参加NPO 寄附金活用状況

(2021年1月末時点)

寄附のゼミナール in あいち 2020

寄附金活用状況について


2021年2月10日

NPO団体名	パパ子育て応援団おとキッズ												
参加学校名	東海商業高等学校												
受け取った寄附金額	166,364 円												
寄附金の活用状況	<p>■概要</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>おとキッズオンラインイベント(コロナ感染状況により、安全が確保できた場合はオフラインイベントに切り替える)</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>年間連続講座(全5回)日にち未定</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>東海市立市民活動センター</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>ふれあい遊び、パネルシアター、オトレンジャーショー 運動会、新聞紙遊び、バスタオル遊び、音楽祭</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>2歳～6歳親子</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>30組～50組</td> </tr> </table> <p>■具体的な状況</p> <p>来年度も引き続き連続講座を開催予定。今年度、オンラインイベントを行い、毎回、30組～40組程度の親子が参加してくれていた。 コロナの感染数の状況により、安全を確保できた場合は、オフライン、オンラインを組み合わせたイベントも検討中。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>	事業名等	おとキッズオンラインイベント(コロナ感染状況により、安全が確保できた場合はオフラインイベントに切り替える)	日時(期間)	年間連続講座(全5回)日にち未定	場所	東海市立市民活動センター	内容	ふれあい遊び、パネルシアター、オトレンジャーショー 運動会、新聞紙遊び、バスタオル遊び、音楽祭	対象	2歳～6歳親子	参加人数	30組～50組
事業名等	おとキッズオンラインイベント(コロナ感染状況により、安全が確保できた場合はオフラインイベントに切り替える)												
日時(期間)	年間連続講座(全5回)日にち未定												
場所	東海市立市民活動センター												
内容	ふれあい遊び、パネルシアター、オトレンジャーショー 運動会、新聞紙遊び、バスタオル遊び、音楽祭												
対象	2歳～6歳親子												
参加人数	30組～50組												
一言メッセージ	引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、オンラインのイベントになっていますが、その中で毎月親子イベントを5回連続講座中です。オンラインイベントしか出来ないではなく、今、この状況だから出来ることを探し、子ども達の、パパのママの笑顔をかたちにしていきたいと思ひます。												
NPO活動に向けた抱負	パパの子育ては、参加や手伝うという捉え方ではなく、当たり前のように、そして、パパが子育てしやすい地域、社会に繋がるように、パパ達が意欲的に楽しめるイベント、そして、コミュニティを作っていきたいと思ひます。来年度は、オンラインとオフラインを掛け合わせたハイブリッドイベントを開催予定です。												

寄附のゼミナール in あいち 2020

寄附金活用状況について


2021年2月10日

NPO団体名 (URL)	防災ママかきつばた (https://ameblo.jp/bosaimama/)												
参加学校名	東海商業高等学校												
受け取った寄附金額	100,909円												
寄附金の活用状況 「親子防災啓発活動のオンラインでの防災講座や、ライブ配信に使用しました！」	<p>■概要</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>コロナ禍だからこそ伝える防災講座</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>オンライン</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>簡単に組み合わせて、防災のハードルが低くすぐ行動していただける防災講座 ・絵本の読み聞かせ ・スライドや動画を使った講演 ・備えている防災グッズ紹介</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>乳幼児親子から地域で防災に関心がある方</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>ライブ配信:リーチ数3万人程度 オンラインでの防災講座:30人程度</td> </tr> </table> <p>■具体的な状況</p>  <p>ライブ配信やオンラインの防災講座をより充実できるものにするために、機材環境や、防災グッズの購入に使用しました</p>	事業名等	コロナ禍だからこそ伝える防災講座	日時(期間)	通年	場所	オンライン	内容	簡単に組み合わせて、防災のハードルが低くすぐ行動していただける防災講座 ・絵本の読み聞かせ ・スライドや動画を使った講演 ・備えている防災グッズ紹介	対象	乳幼児親子から地域で防災に関心がある方	参加人数	ライブ配信:リーチ数3万人程度 オンラインでの防災講座:30人程度
事業名等	コロナ禍だからこそ伝える防災講座												
日時(期間)	通年												
場所	オンライン												
内容	簡単に組み合わせて、防災のハードルが低くすぐ行動していただける防災講座 ・絵本の読み聞かせ ・スライドや動画を使った講演 ・備えている防災グッズ紹介												
対象	乳幼児親子から地域で防災に関心がある方												
参加人数	ライブ配信:リーチ数3万人程度 オンラインでの防災講座:30人程度												
一言メッセージ	親子のみなさんにオンラインの防災講座を試行錯誤しながら取り組んでいますが、寄付をしていただいたおかげで、より高いクオリティで親子のみなさんにお伝えすることができました。感謝でいっぱいです！これからも、より一層防災啓発活動に取り組んでいきます。												
NPO活動に向けた抱負	親子に向けて防災の大切さを伝える人材育成する。 365日、防災を発信しつづける、対象者に届ける発信を研究し、実践する親子のみなさんに、防災の大切さを知って、行動し、行動し続けるよう、より一層取り組みます！												

寄附のゼミナール in あいち 2020

寄附金活用状況について

2021年2月10日

NPO団体名 (URL)	大人のひきこもりピアサポートの会 みらいテラス (https://miraiterrace.net)												
参加学校名	東海商業高等学校												
受け取った寄附金額	32,727円												
寄附金の活用状況 「ひきこもり支援のための演劇公演「幸せへの軌跡」の実施費用に活用させていただく予定です！	<p>■概要</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>「大人の放課後テラス」開催事業</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>9月5日(日)</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>東海芸術劇場多目的ホール</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>職業能力の開発、職業訓練を目的に演劇公演のスタッフとして劇団をサポートする。自己表現の勇気付けとしても開催する。</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>ひきこもりがちな方。ご家族、支援者、学校関係者、福祉関係者</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>137人</td> </tr> </table> <p>■具体的な状況</p>  <p>当初は2月に開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により9月に延期となりました。その間に運営やスタッフ体制を整える期間となり、万全の体制で開催できそうです。</p>	事業名等	「大人の放課後テラス」開催事業	日時(期間)	9月5日(日)	場所	東海芸術劇場多目的ホール	内容	職業能力の開発、職業訓練を目的に演劇公演のスタッフとして劇団をサポートする。自己表現の勇気付けとしても開催する。	対象	ひきこもりがちな方。ご家族、支援者、学校関係者、福祉関係者	参加人数	137人
事業名等	「大人の放課後テラス」開催事業												
日時(期間)	9月5日(日)												
場所	東海芸術劇場多目的ホール												
内容	職業能力の開発、職業訓練を目的に演劇公演のスタッフとして劇団をサポートする。自己表現の勇気付けとしても開催する。												
対象	ひきこもりがちな方。ご家族、支援者、学校関係者、福祉関係者												
参加人数	137人												
一言メッセージ	駆け出しの私たちの活動を、地元の高校生のみなさんに知っていただく良い機会をいただき大変感謝しております。選んでくれたみなさんの気持ちや優しさがとても嬉しいです！大切に活用させていただきます。												
NPO活動に向けた抱負	社会にあるひきこもりのイメージに無意識の偏見がある。優しい人たちが多くということを知ってもらい啓発活動をしていきます。地域に貢献して交流の機会を増やし、自然に社会に溶け込んでいけるように地域イベントを開催していきます。												

寄附のゼミナール in あいち 2020

寄附金活用状況について



2021年2月10日

NPO団体名 (URL)	環境ボランティアサークル亀の子隊 (http://www.kamenoko.org)												
参加学校名	成章高等学校												
受け取った寄附金額	84,615円												
寄附金の活用状況 「亀の子隊が実施している海の環境を学ぶ会に高校生を招待して体験してもらう」	<p>■概要</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>海の環境を学ぶ会</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>2021年3月</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>渥美半島西の浜海岸～休暇村伊良湖</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>西の浜海岸では、浜のクリーンアップ体験を通して海からの漂着物について考える。その後は、休暇村伊良湖に移動し、古墳時代に西の浜で盛んだった塩づくりを体験し、海からの贈り物を知ることによって海への感謝について考える。</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>愛知県立成章高校総合ビジネス科3年</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>40人</td> </tr> </table> <p>■具体的な状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 亀の子隊が活動する西の浜の現状を成章高校生と名古屋の高校生に知ってもらうための交流会を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、交流会は難しい状況である。 ・ せめて寄附のゼミナールの会場校であり、ゼミナールに参加した成章高生を対象に3月中に体験活動を実施したいと考えている。 	事業名等	海の環境を学ぶ会	日時(期間)	2021年3月	場所	渥美半島西の浜海岸～休暇村伊良湖	内容	西の浜海岸では、浜のクリーンアップ体験を通して海からの漂着物について考える。その後は、休暇村伊良湖に移動し、古墳時代に西の浜で盛んだった塩づくりを体験し、海からの贈り物を知ることによって海への感謝について考える。	対象	愛知県立成章高校総合ビジネス科3年	参加人数	40人
事業名等	海の環境を学ぶ会												
日時(期間)	2021年3月												
場所	渥美半島西の浜海岸～休暇村伊良湖												
内容	西の浜海岸では、浜のクリーンアップ体験を通して海からの漂着物について考える。その後は、休暇村伊良湖に移動し、古墳時代に西の浜で盛んだった塩づくりを体験し、海からの贈り物を知ることによって海への感謝について考える。												
対象	愛知県立成章高校総合ビジネス科3年												
参加人数	40人												
一言メッセージ	ふるさとの海に気持ちを向けてくれたことはうれしいことです。西の浜の現状を体験し、是非、「きれいな海を守る」ための活動がさらに発展していくように協力してください。												
NPO活動に向けた抱負	平成10年から始めた「海をきれいにしたい」という活動が、この数年、世界的に生物多様性、SDGsなど新たな視点が大きく動き出す中で「海」に目を向けられるようになってきた。活動をより広範囲に広報し、参加者が増えるようにしたい。												

寄附のゼミナール in あいち 2020

寄附金活用状況について

2021年2月10日

NPO団体名 (URL)	認定NPO法人アジア車いす交流センター (https://wafca.jp/)												
参加学校名	成章高等学校												
受け取った寄附金額	92,308円												
寄附金の活用状況 「車いすを必要とする アジアの障がい児 4名に車いすを 寄贈します。」	<p>■概要</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>車いす支援事業</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>2020年1月～2021年3月</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>タイ・インドネシア</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>障がい児一人一人の体や使用環境に合わせた車いすと支援サービスを提供します。</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>タイ・インドネシアの障がい児</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>タイの障がい児 2名 インドネシアの障がい児 2名 合計4名</td> </tr> </table> <p>■具体的な状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いただいたご寄付で4人の障がい児を支援できるようになりました。1人目の子へ寄贈が完了したので紹介します。 ・18歳のポンプリーチャ ナタン くんです。彼はウタラディット県にある特殊教育センターで車いすをフィッティング・調整し受け取りました。 ・これから3名の寄贈を行っていく予定です。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: right;">【ポンプリーチャ ナタン君】</p>	事業名等	車いす支援事業	日時(期間)	2020年1月～2021年3月	場所	タイ・インドネシア	内容	障がい児一人一人の体や使用環境に合わせた車いすと支援サービスを提供します。	対象	タイ・インドネシアの障がい児	参加人数	タイの障がい児 2名 インドネシアの障がい児 2名 合計4名
事業名等	車いす支援事業												
日時(期間)	2020年1月～2021年3月												
場所	タイ・インドネシア												
内容	障がい児一人一人の体や使用環境に合わせた車いすと支援サービスを提供します。												
対象	タイ・インドネシアの障がい児												
参加人数	タイの障がい児 2名 インドネシアの障がい児 2名 合計4名												
一言メッセージ	<p>高校生の皆さんの投票のおかげで、まずは1人、タイに住む同じ高校生の男の子の生活を変えることができました。</p> <p>この活動をきっかけに、これからも遠く離れた国とのつながりを感じてほしいです。本当にありがとうございました。</p>												
NPO活動に向けた抱負	<p>コロナ禍で現地に行けない今だからこそ、高校生や地域住民の方々にアジアの障がい児の現状をもっと伝えていきたいです。</p> <p>今後はオンラインで現地とつなぐイベントを増やして、現地の障がい児が一生懸命に生きる姿を見て、WAFCAの活動に共感してもらえるよう取り組んでいきます。</p>												

寄附のゼミナール in あいち 2020

寄附金活用状況について





2021年2月10日

NPO団体名	視覚障害者団体 さくらんぼ												
参加学校名	成章高等学校												
受け取った寄附金額	123,077円												
寄附金の活用状況 「みんなで楽しむ音楽会のために活用します」	<p>■概要</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>みんなで楽しむ音楽会 計画交流事業</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>2021年3月20日(土)</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>サンテパークたはら サンテドーム</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>音楽が大好きな人との交流</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>一般市民</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>30名</td> </tr> </table> <p>■具体的な状況</p> <p>音楽会会場は、屋根付き屋外広場という感じです。会場内の下は、地面で、左右のドアはほぼ全面開放できます。ドーム内でコロナ対策をしつつ、視覚障害の方も晴眼者の方も障害がある無しに関わらず、音楽を通して楽しめる会にしようと企画しています。</p>	事業名等	みんなで楽しむ音楽会 計画交流事業	日時(期間)	2021年3月20日(土)	場所	サンテパークたはら サンテドーム	内容	音楽が大好きな人との交流	対象	一般市民	参加人数	30名
事業名等	みんなで楽しむ音楽会 計画交流事業												
日時(期間)	2021年3月20日(土)												
場所	サンテパークたはら サンテドーム												
内容	音楽が大好きな人との交流												
対象	一般市民												
参加人数	30名												
一言メッセージ	成章高等学校の生徒さんの支援により「音楽会」を計画しました。田原市に「視覚障害者団体さくらんぼ🍓」がある事を知っていただくこと、一人でも多くの方に視覚に障害があっても楽しめること、出来ることはいっぱいあると知っていただきたいと思っています。												
NPO活動に向けた抱負	さくらんぼは、 ・小中高校に点字実践教室を通して、視覚障害者の話しを直接聞いてもらう ・子ども園では、年長時に目隠しをして白杖を持って歩く体験をして、点字ブロックは目の見えない人の大切な道、白杖を持っている人が困っていたら声をかけてね・・・など 小さな事から少しずつ活動しています。 一人でも関心を持ってくれたことや人がいたことが本当に嬉しくて、私たちの今後の励みになります。												

寄附のゼミナール in あいち 2020

寄附金活用状況について


2021年2月10日

NPO団体名 (URL)	社会福祉法人 日本介助犬協会 (https://s-dog.jp/)	
参加学校名	栄徳高等学校	
受け取った寄附金額	150,000円	
<p>寄附金の活用状況</p> <p>「一人でも多くの障害児・者が犬を介して笑顔あふれる日々を過ごせるように活用させていただきます」</p>	<p>■概要</p> <p>今回いただきました寄附は以下介助犬育成費用の一部に活用させていただきます。</p> <p>①介助犬の育成 介助犬一頭を育成するのに約250万円～300万円必要ですが、使用者へは無償貸与、という形をとっております。育成費用の9割以上が皆様からの寄付やチャリティグッズの売上等から賄われています。年度内に介助犬代替え1組の合同訓練を開始予定です。</p> <p>②普及・啓発活動 介助犬の認知度はまだまだ低いです。例年は年間300件を超えるイベントや講演などを実施して参りましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、現地での実施がなかなかできない状況です。ですが、ピンチをチャンスに変えるべく、コロナ禍初期の昨年4月よりオンラインでの活動に力を入れるため、カメラやパソコン等、オンライン配信に必要な機材を導入致しました。</p> <p>③公益的な活動 障がい者・障がい児のご家庭に犬を譲渡するWith You プロジェクト、小児科や緩和ケア、司法の場で子どもに寄り添う付添犬など犬の力を活かすドッグインターベンションにも力を入れ、犬を介して人を笑顔にする活動をしています。こちらの活動も9割以上が皆様からの寄附などから賄われています。</p> <p>■具体的な状況</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="440 1312 719 1525"></div> <div data-bbox="751 1290 1158 1525"></div> <div data-bbox="1198 1249 1406 1559"></div> </div> <p>*オンライン講演の様子 *公益的な活動 *介助犬使用者</p>	
一言メッセージ	<p>投票、ありがとうございました！皆様からのメッセージは大変嬉しく、今後の活動の励みとなりました。</p> <p>介助犬の頭数が全国で57頭(2020年10月地点)であることに對し、潜在的な希望者は15,000人います。まだまだ数が足りていないことが現状です。頭数を増やすためには認知度向上が必要不可欠です。是非、多くの方に介助犬について広めていただけると嬉しいです！</p>	
NPO活動に向けた抱負	<p>私たちは「人にも動物にもやさしく楽しい社会を目指して」をモットーに活動しております。介助犬はもちろん、一人でも多くの障害児・者が犬を介して笑顔あふれる日々を送れるように今後も活動して参ります。また、犬達にも一頭一頭個性があります。犬達と真剣に向き合い、個性を見極めた上で、進む道を決めることも使命と考えております。人と犬、両者が幸せになれるよう精進して参ります。</p>	

寄附のゼミナール in あいち 2020

寄附金活用状況について



2021年2月10日

NPO団体名 (URL)	社会福祉法人むそう ぴゅん長久手 (https://musou.or.jp/place/50/)												
参加学校名	栄徳高等学校												
受け取った寄附金額	136,364円												
寄附金の活用状況 「トランポリンやハンモック、キャスパーなど感覚統合機に使用予定」	<p>■概要</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>社会福祉法人むそう ぴゅん長久手の活動</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>2021年に購入予定</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>ぴゅん長久手 事業所内</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>感覚統合機を使って子どもたちに楽しんでもらいながら、発達支援をする</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>ぴゅん長久手に来てくれる子どもたち</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>事業所に通ってくる子どもたち</td> </tr> </table> <p>■具体的な状況</p> <p>子どもたちが、ストレスなく楽しく過ごせるように、トランポリンやハンモック、キャスパーなどの感覚統合機を購入する予定です。子どもたちの発達に合わせて楽しめるように使用して行きたいと思います。</p> 	事業名等	社会福祉法人むそう ぴゅん長久手の活動	日時(期間)	2021年に購入予定	場所	ぴゅん長久手 事業所内	内容	感覚統合機を使って子どもたちに楽しんでもらいながら、発達支援をする	対象	ぴゅん長久手に来てくれる子どもたち	参加人数	事業所に通ってくる子どもたち
事業名等	社会福祉法人むそう ぴゅん長久手の活動												
日時(期間)	2021年に購入予定												
場所	ぴゅん長久手 事業所内												
内容	感覚統合機を使って子どもたちに楽しんでもらいながら、発達支援をする												
対象	ぴゅん長久手に来てくれる子どもたち												
参加人数	事業所に通ってくる子どもたち												
一言メッセージ	投票してくださり、ありがとうございました。発達障害について少しでも知ってもらえて、嬉しかったです。今回発達障害についてわかったことを周りの人にもたくさんお話してみてください！												
NPO活動に向けた抱負	今後も子どもたち1人1人に合わせた支援をしていきたいと思いません！												

寄附のゼミナール in あいち 2020

寄附金活用状況について

2021年2月10日

NPO団体名 (URL)	NPO法人フィール・ザ・ワールド (http://www.feeltheworld.jp/)												
参加学校名	栄徳高等学校												
受け取った寄附金額	13,636円												
寄附金の活用状況 「SDGs 映画鑑賞会の実施」 に活用する予定	<p>■概要</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>SDGs映画鑑賞会～あなたのミライのために～</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>2021年7月～12月</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>北名古屋市内の公共施設</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>SDGsにちなんだ映画を鑑賞し、その後、各テーマに沿ったゲストスピーカーを中心にしたワークショップを実施し、参加者個人の日常生活や新しい行動変容を試みる。</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>どなたでも参加可能</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>全6回 300名</td> </tr> </table> <p>■具体的な状況</p> <p>「SDGs映画鑑賞会」を企画中で、6回程度、北名古屋市内で実施する予定にしています。地域住民が身近に感じ、一人一人の考え方や明日からの行動に変容が生まれるように工夫していこうと思います。鑑賞後には、ミニミニワークショップを開催し、ゲストスピーカーの話の後に、その場に集った人たちが意見を交流させ、お互いの中で学び合いが起こるように仕掛けていこうと考えています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【開催予定映画会のチラシ】</p>	事業名等	SDGs映画鑑賞会～あなたのミライのために～	日時(期間)	2021年7月～12月	場所	北名古屋市内の公共施設	内容	SDGsにちなんだ映画を鑑賞し、その後、各テーマに沿ったゲストスピーカーを中心にしたワークショップを実施し、参加者個人の日常生活や新しい行動変容を試みる。	対象	どなたでも参加可能	参加人数	全6回 300名
事業名等	SDGs映画鑑賞会～あなたのミライのために～												
日時(期間)	2021年7月～12月												
場所	北名古屋市内の公共施設												
内容	SDGsにちなんだ映画を鑑賞し、その後、各テーマに沿ったゲストスピーカーを中心にしたワークショップを実施し、参加者個人の日常生活や新しい行動変容を試みる。												
対象	どなたでも参加可能												
参加人数	全6回 300名												
一言メッセージ	地球上にいる一人一人が考えていく必要に迫られている課題ですが、私達団体がどう具体的に関わっていけるのかを考えています。地域の理解を深めつつ、世界的視野に立って活動できる人が一人でも増えることを願いつつ、有意義な機会がもてるようにしっかりと企画、実施していきます。												
NPO活動に向けた抱負	2021年から2030年まではSDGsに関連した活動を実施していく予定です。また同時に、世界の課題を世界の人たちと一緒に考えられる視点を持った人財育成に力を注ぎます。												

寄附のゼミナール in あいち 2020

終了後の活動状況について

2021年2月10日

参加学校名：清須市立春日中学校

NPO団体名	親子わくわくプラザ
一言メッセージ	真剣に、プレゼンを聞いてくれ、「自分の家の近くでも、やってほしい」「今度は、自分も参加したい」という感想をくれ、とても感激しました。みんなと話し合ったことを活かした活動を続けていきたいです。ボランティアを、身近に感じてくれていて、うれしかったです。
NPO活動に向けた抱負	コロナ禍においては、活動の存続自体が、厳しい状況ですが、細く長く継続できるような活動を、模索していきたいです。

NPO団体名 (URL)	NPO法人 瑞穂学習支援会 (https://yoyogi-gifu.jimdo.com)
一言メッセージ	得票を得る自信なく参加致しましたが、思った以上に多くの票を頂けてとても温かい気持ちになりました。投票後の意見交換でも生徒がボランティアをしたい、何か社会の役に立ちたいという気持ちを聞けてとても嬉しかったです。
NPO活動に向けた抱負	今回この寄附のゼミナールで学んだことですが、自己主張にはなりすぎないように当団体のアピールをしていき、より多くの人にこの活動を知ってもらいたいと思いました。

NPO団体名	清須市家庭教育支援チーム 「チームMOMO」
一言メッセージ	15名の投票していただいた生徒さんのメッセージには、一言一言「命」についての思いが深く込められていて、私たちの思いが、伝わったのではないかと思います。そして、15名のメッセージは、2年生の代表での言葉として、きっと他の生徒さんも、私たちの発表を聞く生徒さんの様子から、いろいろ感じられたのではないかと思います。
NPO活動に向けた抱負	「いのちの大切さ」を伝える活動を、一人でも多くの中学生に機会をもうけたいと思います。 また、今回の寄附のゼミナール事業を行ったことで、今まで以上に、必要な活動であると感じました。 今後もこの活動を続けていくためにも、メンバーを増やしていきたいと思っております。



フィールドワーク



●●● 「フィールドワーク」とは ●●●

フィールドワークは、寄附のゼミナール参加校の生徒が、NPOの活動を現場で体験することにより、社会参画・貢献を考える実地学習です。



※ 原則、寄附のゼミナールに参加したNPOの中から訪問先を決定

1 開催概要

(1) 実施校等

実施校 (所在地) [対象生徒]	日時	訪問先NPO
愛知県立 蒲郡高等学校 (蒲郡市) [ボランティア部 9名]	11月5日(木) 13:00~16:00	NPO法人青ねこクラブ(刈谷市)
愛知県立 豊田東高等学校 (豊田市) [IFC部 6名]	12月2日(水) 13:00~16:00	公益財団法人オイスカ中部日本研修 センター(豊田市)

(2) 訪問先NPO紹介

訪問先NPO	事業内容
NPO法人 青ねこクラブ	障がい者の就労支援を行うとともに、生産活動を通じた知識及び能力向上のために就労訓練等を行っている団体
公益財団法人オイスカ 中部日本研修センター	環境保全や農村開発のために緑化活動等を行っている団体

※ 訪問先NPOは、いずれも2019年度寄附のゼミナールに参加しています。

2 開催実績

① 愛知県立蒲郡高等学校

訪問先：NPO法人青ねこクラブ（刈谷市）

参加者：9名（ボランティア部の生徒）

愛知県刈谷市内にあるNPO法人青ねこクラブを訪問しました。

青ねこクラブへ向かう道中のバスの車内では、理事長の松本澄江氏から、法人の活動の紹介や活動理念などをパネルを利用してわかりやすく説明していただき、高校生のみなさんは真剣に耳を傾けていました。



青ねこクラブの事業所では、他のNPOの職員の方も交えて青ねこクラブの事業である放置自転車の再生活動を実際に体験しました。生徒は3グループに分かれてNPOの職員の方からやり方の指導を受けながら、自転車の分解、車体の磨き、パンク修理を体験し、普段行わない作業に悪戦苦闘しながらも、一生懸命に取り組んでいました。



訪問先NPO

NPO法人青ねこクラブ



青ねこクラブでは、障がい者の就労支援を行うとともに、生産活動を通じた知識及び能力向上のために就労訓練等を行っています。

参加者の声

高校生から

- 就労支援を行っていると聞いてそれについてもっと知りたいと思った。
- 古いものを再利用するリサイクルを自分からやりたいと思うけど、実際にやるのが難しいので、本当にいい機会だった。今後のボランティアにも活かしていきたい。
- 自転車の分解とかは、何回もできるようなことじゃないと思うので、こういうなかなかできない経験を大事にしていきたい。
- NPOの自分の利益を求めない姿勢には感動した。
- 言うだけでなく、しっかり行動を起こしていきたい。とてもいい経験になった。



② 愛知県立豊田東高等学校

訪問先：公益財団法人オイスカ中部日本研修センター
(豊田市)

参加者：6名（I F C部の生徒）

愛知県豊田市内にある公益財団法人オイスカ 中部日本研修センターを訪問しました。

中部日本研修センターへ向かう道中のバスの車内では、オイスカの方から、法人の活動の紹介や活動理念などをわかりやすく説明していただき、高校生のみなさんは真剣に耳を傾けていました。



中部日本研修センターでは、センターの説明を受けたのち、農場へ移動してそこで育てられた野菜の収穫作業を体験しました。収穫作業では、センターで農業実習を受けている外国人実習生と協力してにんじんやじゃがいもの収穫作業に一生懸命に取り組んでいました。



訪問先NPO

公益財団法人オイスカ中部日本研修センター



オイスカは、主にアジア地域で農村開発や環境保全活動を行っています。その中でも中部日本研修センターでは、海外からの研修生の受け入れを行い、農業研修等を行っています。

参加者の声

高校生から

- NPO法人は、学校などの授業で取り扱うことがあり知っていたが、実際に活動に参加するのは初めてだった。フィールドワークに参加しなければ知ることができなかったオイスカの方々と農業を通して交流できてよかった。
- 今回の体験をとおして国際交流だけでなく、社会の一員として、社会に貢献することができて良かった。
- 実際にやってみると大変だが、どのようなことをやっているかを知れてとても良かった。
- フィールドワークに参加して、様々なことを知ったり、体験できて良かった。





指導者養成セミナー

●●● 「指導者養成セミナー」とは ●●●

指導者養成セミナーは、寄附のゼミナールが県内の市町村で実施可能となるよう、市町村及びセンター職員、中間支援NPO職員を対象に、寄附のゼミナールの指導者を養成するためのセミナーです。

1 指導者養成セミナーの中止に係る経緯

指導者養成セミナーは、寄附のゼミナールを実施する指導者を養成するためのものであって、例年7月から9月までに開催されてきました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、同セミナーの開催を中止しました。



2 寄附のゼミナール直前講座の開催に至る経緯

指導者養成セミナーを中止とした一方で、寄附のゼミナールを普及していくために指導者を養成する必要性や、寄附のゼミナールを開催したい市町村からの要望等を受け、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を施した上で、寄附のゼミナールの開催に併せ、同ゼミナールの実施に必要な知識を身に付ける講座「寄附のゼミナール直前講座」を開催することとしました。

3 開催実績

(1) 開催日時等

日 時：令和2年10月2日（金）9：00～9：40

場 所：県立東海商業高等学校（東海市）

参加者：6名（開催校の教諭の方を含みます。）

(2) 講師



特定非営利活動法人中部プロボノセンター
代表理事 戸成 司朗（となり しろう）氏

35年間セゾングループ(株)西友に勤務、07年執行役員副社長を最後に退任、この間に日本チェーンストア協会初代社会貢献委員長を務める。自宅の在る日進市に戻り、第二の人生を社会に貢献したく、同年住友理工(株)に入社、CSR部長、アドバイザーとして、価値創造型CSRを推進してきた。



又、2013年中部圏の企業人の社会参加を目指し、NPO法人中部プロボノセンターを設立し共同代表理事を務める。又、中京大学大学院にて客員教授としてソーシャルビジネスを教える。2019年一般社団法人中部SDGs推進センターを設立、代表理事に就任しSDGsの普及啓発、実践指導を行っている。

現職：一般社団法人中部SDGs推進センター 代表理事
合同会社戸成事務所 代表社員

(3) 概要

講師のNPO法人中部プロボノセンター戸成代表理事から、参加NPOに対するプレゼンテーション研修によるNPOの資金調達力向上のためのポイントや寄附のゼミナール開催による若者の寄附意識・社会貢献意識の醸成に係るポイントについて、レクチャーが行われました。





寄附教育あいちモデル策定事業
成果報告BOOK2020

2021年3月

主 催：愛知県（県民文化局県民生活部社会活動推進課）

受託団体：特定非営利活動法人中部プロボノセンター
(寄附のゼミナール)